

一般競争入札(総合評価落札方式)に関する質問及び回答(Q&A)

最終更新日 2022 年 3 月 15 日
独立行政法人情報処理推進機構

件名: 「IPAウェブサイトのリニューアル実施業務」

項番	資料名	頁番号	項目名	質問内容	回答内容	回答掲載日
1	IV.入札資料作成要領及び評価手順	p.53(3.3 ②)	留意事項	特定の製品を採用する場合に補足資料を添付することになっていますが、パンフレットは1部でいいのでしょうか。もしくは提案書と同じく6部必要でしょうか。	提案書記載内容を証明および補足するものなので1部でよいです。	2022年 2月25日
2	I.入札説明書	p.4(6)	入札書等の提出方法及び提出期限等	提出書類一覧に「CMS機能要件書」の記載がないですが提出しなくていいのでしょうか。	p.51「入札資料作成要領及び評価基準」第3章3.1の1.5にあるとおり、提案書の別紙対応となりますので提出してください。	2022年 2月25日
3	V.評価項目一覧	p.56	提案要求事項	提案要求事項の表に提案書頁番号の記載欄がありますが、このフォーマットをそのまま使用して提出するのでしょうか。	そのまま使用する必要はないですが、p.52「入札資料作成要領及び評価基準」第3章3.2の提案書様式のとおり、評価項目一覧についても提案書と同様の様式にてご提出ください。	2022年 2月25日
4	III.仕様書	p.18	1.5 契約期間、業務スケジュール	ペネトレーションテストは、「7.1 並行稼働期間のための一次提出物件」に記載の「IPAが行う脆弱性診断等」が該当し、当該診断に関する費用は本業務に含めなくてよいのでしょうか。	7.1に記載した「IPAが行う脆弱性診断等」にペネトレーションテストは含まれており、費用はIPAが負担します。	2022年 3月11日

5	Ⅲ.仕様書	p.18	1.5 契約期間、業務スケジュール	ペネトレーションテストの対象は、一般利用者向けに公開するIPAの新サイトであり、設定等が同一であることを示すことができれば必ずしも本番環境での実施は必須ではない認識でよいでしょうか。	ペネトレーションテストを実施する場合は本番環境で実施します。	2022年 3月11日
6	CMS機能要件書	-	2.ページ編集・管理機能 外部連携 2-112	「要望に合わせて追加実装することが可能なこと」とありますが、本調達においては、当該追加実装への対応はスコープ外とし、追加実装が可能な環境として構築することまでがスコープ内という認識でよいでしょうか。	ご認識の通りです。	2022年 3月11日
7	CMS機能要件書	-	2.ページ編集・管理機能 多言語対応 2-106	「自動翻訳のサービス利用が可能なこと。」の記載は、「本調達のスコープ外として、別途自動翻訳サービスの導入を行うこととなった場合、導入に当たって効率的に対応が可能なCMS環境を構築することが求められる。」という解釈でよいでしょうか。	ご認識の通りです。	2022年 3月11日
8	Ⅲ.仕様書	p.24	2.2 システム構成 (2)	本要件で記載されているAuto ScalingやSchedule Scalingについては、システム上、その実装が過剰であると判断できる場合は、必ずしも実装は必須ではない認識でよいでしょうか。	スケールアウトの必要性が生じ得ない設計であれば、Auto Scaling、Schedule Scallingの実装は必須ではありません。	2022年 3月11日
9	Ⅲ.仕様書	p.26	2.4.3 CMSサーバへのアクセス	2.2 システム構成 (7)において、HCIにおける貴機構と受注業者間の責任分界点についての記載があります。その中で、本項は請負者側の責任範囲に含まれる項目という認識でよいでしょうか。	本項においても2.2(7)記載の通り、責任範囲の切り分けが必要な場合は協議します。	2022年 3月11日

10	Ⅲ. 仕様書	p.26	2.4.3 CMSサーバーへのアクセス	本項記載の設定に関するテストについては、テスト仕様書の作成等についてはIPAと請負者のどちらが作成/実施を行う想定でしょうか。	必要な情報をIPAから提示したうえで、テスト仕様書の作成/実施ともに請負者が行う想定です。	2022年 3月11日
11	Ⅲ. 仕様書	p.24	2.2 システム構成 (7)	本記載における「各種インストールや初期設定」の範囲は、CMSに関するものでしょうか。それともOSレベルの設計/設定も含むものでしょうか。	OSレベルの設計/設定も請負者の業務範囲に含みます。	2022年 3月11日
12	Ⅲ. 仕様書	p.41	6.1 サービスレベル合意書の締結	提案としてクラウドを使用する場合、SLAにおいてはクラウドの仕様が適用されることが想定されますが、IPAが求めるSLAの内容にそぐわない場合については許容してもらえるのでしょうか。	提案された仕様に基づき、IPAと請負者で協議のうえ、SLAを結びます。	2022年 3月11日
13	Ⅲ. 仕様書	p.31	3.1.10 その他プロジェクト管理要件 (2)	本項に記載の検証環境は「6.5 開発環境の維持管理」に記載の開発環境と同じであり、コンサルティング業者からのアクセスへのセキュリティ設定については請負者が提案すればよいでしょうか。	ご認識の通りです。	2022年 3月11日

14	CMS機能要件書	-	2.ページ 編集・管理 機能 ページ削 除 2-38, 2-39	「削除」とはCMSからの削除でしょうか、それとも 公開サーバからの削除でしょうか。	CMSからの削除です。	2022年 3月11日
15	CMS機能要件書	-	2.ページ 編集・管理 機能 外部連携 2-112	メールマガジンの連携仕様および想定される 特定サービスが不明なため対応可否を判断で きません。想定される特定サービスを教えてく ださい。	現時点での要望はありません。対応可能な内容 をご提案ください。	2022年 3月11日
16	CMS機能要件書	-	4.システム 管理機能 管理対象 4-2	「定時公開時間」とはどういったものでしょうか。 分単位での公開予約で要件を満たしますでし ょうか。	任意の日時指定(公開予約)、即時公開問わ ず、公開時間の設定に関する権限の制限を行 えることを意味しています。 ※当該項目について、CMS機能要件書を修正 しました。	2022年 3月11日
17	CMS機能要件書	-	4.システム 管理機能 管理対象 4-3	「日時指定」との記載がありますが、分単位で の指定で要件を満たしますでしょうか。	分単位での指定で問題ありません。	2022年 3月11日

18	Ⅲ. 仕様書	p.24	2.2 システム構成 (4)	本業務で構築するシステムはクラウド環境、IPA内のHCI基盤、IPAが別途契約するIDCと3拠点で構成されますが、これらの拠点間にて発生する通信は、SFTPやインターネット経由での通信という前提でよいでしょうか。 VPN環境や閉域網を用いたWANの構築は必要でしょうか。	拠点間にて発生する通信は、セキュアなデータ転送方式や通信が確保されていればVPN環境や閉域網を用いたWAN環境の構築は不要です。 SFTPは、証明書による認証、接続元制限、電子政府推奨暗号リストに従ったアルゴリズムを使用してください。	2022年 3月11日
19	Ⅳ. 入札資料作成要領 及び評価手順	p.51	3.1提案書の構成及び記載事項 1.8デザイン提案	仕様書「3.4.4 デザイン案の作成(1)作成するデザイン案」に記載のあるものすべてではなく、提案の要旨が伝わるよういくつかにしぼって作成したいと考えていますが、その認識でよいでしょうか。	ご認識の通りです。	2022年 3月14日
20	Ⅲ. 仕様書	p.24	2.3 システム稼働要件(2)	仕様書に記載された項目に加え、現行環境に関する以下の内容について開示してもらえますでしょうか。 ①サーバスペック及びサーバ台数 ②ピーク時のサーバリソース利用率情報(CPU及びメモリが何%利用されているか)	待機系を除く、通常稼働している共通基盤内の公開サーバについて、以下に示します。 サーバ台数:1台 メモリ容量:8GB CPUコア数:2個 ピーク時のメモリ使用率:約93% ピーク時のCPU使用率:約42% なお、試験部ウェブサイトはIPAウェブサイトとは異なる構成であり、以下に示します。 サーバ台数:2台 メモリ容量:32GB CPUコア数:8個 ピーク時のメモリ使用率:約26% ピーク時のCPU使用率:6%	2022年 3月15日